

# かみふら 議会だより

No. 67  
2010.7.25発行

題字 上富良野中学校 3年 書道部 星野 起奈



頑張れ！上高野球部

## 主な記事

- 第2回定例会 各会計補正予算可決ほか…………… P 2
- 「旭川で出産する場合の交通費助成について」など5名の議員が町政を問う…… P 4
- もっと知りたいまちのこと 9「わが町の商工業の歴史と現状」…………… P 9

6月定例会

# 第2回定例会開催される

第2回定例会が6月15日・16日の2日間開催されました。本定例会では、補正予算、条例の改正、規約の変更などが議決され、5名の議員が町の一般行政について質問しました。



## 平成22年度各会計補正予算可決

平成22年度一般会計、特別会計7会計の補正予算を可決しました。

これは平成21年度の一般会計決算確定に伴う繰越金と特別会計決算確定に伴う繰入金、歳計余剰金の各基金への積立、富原野球場防球フェンス設置、いきいき妊婦応援事業の実施及び演習場周辺農業用施設設置助成事業の前倒しなどに伴う補正です。

## 6月補正予算の状況

会計名	補正額	総予算額
一般会計	3億107万円	65億3,934万7千円
国民健康保険特別会計	5,756万7千円	14億2,031万1千円
老人保健特別会計	56万2千円	711万8千円
後期高齢者医療特別会計	17万8千円	9,698万7千円
介護保険特別会計	1,373万1千円	7億8,132万2千円
簡易水道事業特別会計	181万円	5,733万6千円
公共下水道事業特別会計	297万円	3億6,493万7千円
ラベンダー・ハイツ事業特別会計	1,415万9千円	3億133万円

### 質疑から

**問** 平成21年度会計の繰越金を基金に積み立てることだが、予算配当時に努力して住民からの要望事項などに上乗せできなかったのか。21年度の予算執行についてどうだったのか。基金に積み立てるほか、住民に還元する事業を展開して欲しい。

**答** 基本的には3月定例会で適切な補正予算を行っている。今回の大きな繰越金約1億7千800万円(約7千600万円)である。また、年度末や決算終了時期にならない限り、歳入・歳出の確定ができないものもあり、特に扶助費(医療費等)は不確定要素があることから、一定程度の予算額を年度末まで維持している現状もある。以上の理由から、予算に計上している事業を執行しながら、結果として、このような繰越金が発生した。

町の歳入は、国・北海道からの依存財源が大きくなウエイトを占めるため、恒常的な事業への上乘せについては、財源確保を見極めて慎重に対応したい。

### 富原野球場に

## 防球フェンスを設置

今後の危害予防や安全管理に資するため、

富原野球場に高さ10メートル、幅70メートルのフェンス2枚(1千197万円)を設置します。

### 質疑から

**問** 工事期間は、7月上旬に契約し、9月末に完成するよう予定している。

### いきいき妊婦応援事業を実施

地域周産期母子医療センターである富原野協会病院の産婦人科医師の退職(3月末)により、出産の不安感や負担を解消するため、22年7月1日から23年3月31日までの妊婦に対し3万円(総予算450万円)を助成します。

町長の行政報告で、派遣医師による診察が継続されているものの、常勤医師確保の見通しが立っていない富原野協会病院産婦人科に「昨日1名の常勤医師が確保できた旨の一報をうけた。」と報告されました。



### 質疑から

**問** 富原野協会病院で産婦人科医師1名を確保できた報告を受けたが、来年度以降の将来的な扱いはどうなるのか。

**答** 23年3月末までの事業であるが、来年度以降の子育て支援を中心とした総合的な支援策の展開に向け検討中である。

### 演習場周辺農業用施設設置

#### 助成事業を前倒し

平成23年度に計画していた自走式ポテトハーベスターほか7台を本年度に前倒しして購入し、収穫作業の効率化を図ります。

### 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を可決

#### 一部を改正する条例を可決

地方公務員法第25条第2項の規定により、職員への給与の支払いにあたり法律に認められた以外のチエック・オフ（給与の支給前に生命保険料など、その一部を控除すること）の内容を明記するよう条例の一部改正を可決。条例施行は平成22年7月1日からです。

### 企業振興措置条例の一部を改正する条例を可決

企業立地促進法に基づき「富良野・美瑛地域の地域産業活性化計画」を策定したことにより、工場等を新増設する事業者に対し、取得した固定資産の固定資産税を3年間免除する条例の一部改正を可決。この条例の改正規定は公布の日から平成27年3月31日までの5年間です。

### 農業振興資金融資条例の一部を改正する条例を可決

#### 一部を改正する条例を可決

平成20年度税制改正により農業機械等の減価償却資産の耐用年数等に関する省令が改正され、最短償却年数が7年となったことから、農業振興資金を利用する農業者の利便性に資するため、融資期間を5年以内から7年以内に、融資時期を4月と10月に限定していたものを予算の範囲内で通年とする条例の一部改正を可決。施行後、平成22年4月1日から適用されます。

### 営農改善資金融資条例の一部を改正する条例を可決

#### 一部を改正する条例を可決

平成20年度税制改正により、営農改善資金を利用する農業者の利便性に資するため、融資期間を5年以内から7年以内とする条例の一部改正を可決。施行後、平成22年4月1日から適用されます。

### 各規約の変更を可決

北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例の施行に伴い、上川支庁が上川総合振興局となったことから、「北海道市町村備荒資金組合規約」、「北海道市町村総合事務組合規約」、「北海道市町村職員退職手当組合規約」、「北海道町村議会議員公

務災害補償等組合規約」の変更について可決しました。

## 第2回臨時会（5月24日開催）

### 平成22年度上富良野町一般会計補正予算（第1号）を可決

歳入歳出にそれぞれ827万7千円を追加し、総額62億3千827万7千円とするものです。

主な内容は

- ・ 国の雇用創出事業臨時特例基金積立金の交付金
- ・ 障がい者支援の介護雇用プログラム事業委託（なないろニカラのホームヘルパー養成2名分約441万円）
- ・ 商店街空き店舗及び商店街現況調査事業として（訪問調査員の賃金約90万円）
- ・ 観光特産品開発事業費に約265万円
- ・ 地域づくり総合事業交付金（バスポート申請事業のための交付金20万円）
- ・ 専決処分の報告2件
- ・ 上富良野町税条例等の一部を改正する条例

国の条例が4月1日から改正することに合わせるため専決処分とした「たばこ税の引上げ、個人住民税の扶養者控除の廃止、国民健康保険税条例の改正」など、交通事故に係る和解及び損害賠償額を定める件

### 富町団地町営住宅新築工事

（建築主体工事）請負契約締結の件を可決  
富町団地10戸1棟整備の請負契約を可決しました。



村上 議員

### 旭川で出産する場合の

### いきいき妊婦応援事業として 交通費助成を 助成する

**村上議員** 富良野協会の産婦人科常勤医師が3月31日に退職され、9月以降の出産を控えている人には旭川の病院を紹介している。今後、協会病院に常勤の産婦人科医師が着任される見通しは、出産される人に対し、町独自の交通費の助成を考えると無理ないか。

**向山町長** 産婦人科医師の見通しについて、昨日、常勤医師1名の確保がで

きた連絡を受け、8月13日以降の診療だと聞いている。町としては妊婦の方々に対し、出産への不安感や負担感の解消を早期に図る必要があり、上富良野町いきいき妊婦応援事業の取り組みにより、少子化対策の充実を図るため本定例会に補正予算を計上するので御理解賜りたい。



応するとのことで大変評価するが、産婦人科の医師の見通しが難しいとのこと、行政としても旭川で出産する場合の交通費、JRで往復1千620円×14回、出産するまでの交通費2万2千680円がかかる。これらに対するものとして考えていただいたかと思うが、医師が決まったが、この施策は変更することなくやるのか確認したい。

**向山町長** 1年くらい協会病院の診療体制の推移を見てからの流れになるかと思うが、この予算については最低限、平成22年度中は見直す予定はしていない。

### 空き店舗、商店街支援対策の

### 取り組みを 今回の調査で実態と課題を 整理したい

**村上議員** 空き店舗対策としての支援補助等を考えてはどうか。

**向山町長** より実効性のある対策を見出し商工業の振興が図られるよう空き店舗にならないような対策も含め、商工会、商工業関係者とも協議を進めてまいりたい。

**村上議員** 店舗老朽化のリフォームに対する支援を。

**向山町長** 商店街活性化資金等の融資制度を設けており、利子については助成を行っている。

**村上議員** 質問の趣旨はこついったのでなく、平成13年から5年間執行した補助で30店舗ほどが新しくなったが、振興条例を策定し、リフォームにも補助金を出すというこ

### 取り組みを

### 整理したい

とは考えられないか。

**向山町長** 調査等を十分参考にしながら条例化も含め、リフォーム等をし、次の展開に向け頑張ろうという内容であれば、動向を踏まえ改めて判断検討したい。

**村上議員** 店舗を廃業された方の空地を借用してのイベントに支援を。

**向山町長** 調査等を含め、総合的な見地から検討す

### 保育料基準額の区分の細分化を 階層区分の細分化は

### 考えていない

**村上議員** 近隣市町村の保育料はホームページを見れば一目瞭然。上富良野町は8階層、富良野市は14階層、4万円未満のところを細分化をして、

保育料を支払いやすくしてはどうか。

**向山町長** 国の基準に準じ設定しており、階層区分の細分化は考えていない。



今 村 議 員

### 良い景観地の宅地化による 移住者の増大を プロジェクトチームにより 戦略的に構築する

**今村議員** 第5次上富良野町総合計画によると、

毎年新たに40人の定住者、移住者確保を目指し、平成30年の人口目標を1万1千900人と定めている。そこで、定住・移住の現状、定住・移住促進の具体的プラン及び人口目標の変更の有無について伺いたい。

**向山町長** 定住・移住に

関する現況は、21年度は問い合わせが21件その中

で移住された方が3戸4名、22年度は現時点で問い合わせが8件で移住された方が1戸2名である。

具体的なプランについては、本年度において子育て支援、産業振興、雇用対策等の面から、包括的に議論を進める組織内プロジェクトチームを設置してより戦略的な移住・定住推進プラン策定に着手した。人口目標1万1千900人については、変更

する考えはない。

**今村議員** 富良野沿線では

一番景観が良い町は。

**向山町長** 言うまでもなく美瑛・富良野エリアでは上富良野町の景観がどこにも勝っている。

**今村議員** すばらしい景観に思いを寄せる人々の心などを理解することが定住・移住促進のキーポイントの1つと考えている。また、自衛隊と共存したまちであり、よってどこよりも移住者にやさしく住みやすい町でもある。農地の宅地化や市街地の拡大などの課題もあるが、景観の良い丘などを宅地造成し売り出して

**今村議員** パークゴルフの有識者の方によると、

現地積で現在の3コース27ホールを動かさないと4コース36ホールにすることが可能とのこと。町民の健康増進などはもちろんのこと、経済的効果や観光客の誘致などの副次的な目標も期待できる。コースの増設に踏み切るべきと思うが。

**北川教育長** 町民の健康

づくり、触れ合いの場として、初心者を含めたパークゴルフ愛好者の拡大を図り、さらに普及促進を図る上からも36ホールへの増設は望ましい。また、大会を誘致できることによる経済効果も大変魅力ではあるが、当然

はいかがか。定住・移住促進や経済に寄与すると思うが。

**向山町長** 「景観の良さ、

### 現地積でのパークゴルフ場コースの増設を 現状のゆとりあるコースの維持がベター

町からちよつと離れた場所、農地を転用云々」それは不可能ではないと思う。大いに検討する価値

がある。景観を生かすことは大前提であり戦略的にプロジェクトチームにおいて構築していきたい。

**今村議員** パークゴルフ



1コース当たりの面積が狭くなり、現状の解放感のあるものが圧迫感を感じる。懸念される。さらに安全性に新たな課題が生じると思う。現状のゆとりあるコースを維持していくことがベターと考えている。

**北川教育長** 面積的には可能であるが、管理上は難しいと考える。バリアフリー化している特徴もある。今後町内の利用人口が伸びていけば、次の段階として考える。増設案を現地で話を聞き確認する。

**今村議員** 同僚議員の過去の質問による答弁は、

「真剣に考え第5次総合計画に反映させたい。」あるいは「用地の拡大取得

**向山町長** 町民の愛好者が増え、窮屈・困難な状況が生ずれば、こちらから増設提案する。

増設提案する。



岡 本 議 員

### より一層のマイマイガ対策を 今以上の対策は考えていない

**岡本議員** 今後、より有益な情報の提供は。

**向山町長** 今後も情報は提供していく。

**岡本議員** 美瑛町ではカメムシ対策で噴霧器の貸し出しをしているが、そのような行政サービスは



考えていないのか。

**向山町長** そのような考えはない。

**岡本議員** 住民自治奨励事業を活用して街路灯の電球の交換は可能か。

**向山町長** マイマイガ対策としては考えてない。

**岡本議員** 観点を变えて、省エネ化として街路灯を換えると結果、マイマイガ対策になるが。

**向山町長** 環境対策としての観点からの街路灯交換は、将来進めていく。

**岡本議員** 町民は自助の

限界にきている。自己負担で水銀灯を交換するのは良いか。

**向山町長** ルール上許されるのであれば、電球の交換は可能であると考えている。

**岡本議員** 景観がバラバラになるが。

### 中長期の観光ビジョンを 多くの関係者と話し合い策定

**岡本議員** トップセールの報告書は関係各団体に行き渡っているか。

**向山町長** まわっている。

**岡本議員** 今年度のトップセールの予定はあるか。

**向山町長** トップセールの予定はない。

**岡本議員** 観光における国内と国外のバランスはどのように考えているか。

**向山町長** 7対3もしくは6対4で国内の観光客に軸足を置いた観光を考えている。アジアを中心とした観光客の受け入れ

**向山町長** 景観上、褒められたものではない。

**岡本議員** 景観上、褒められたものではないが、自己負担で水銀灯を交換するのは良いということが良いか確認する。

**向山町長** ルール上許されるのであれば良とする。



整備は整っていないと感じている。

**岡本議員** 情報・事務の一元化として関係団体に職員の出向は考えられないか。

**向山町長** ぜひ町側から

提案させていただきたいという心境である。これからは自治体間の競争であると考えている。戦略をもって取り組んでいきたい。

**岡本議員** 観光ビジョンはいつ頃完成する予定か。

**向山町長** いつまでにと言うことは今は申しかねる。

**岡本議員** 観光ビジョンは第5次総合計画にある

### 次代を担う若者の連携を きっかけづくりを支援

**岡本議員** 具体的に案があるのか。

**向山町長** 具体策は持っていないが、青年の力をまちづくりを生かして欲しい。ネットワークを構築する際のお手伝い等もしたいと考えている。また、勉強・研修等も要望があれば手伝いたい。

**岡本議員** 行政主導にならないような仕掛けがあればと考えるが。

観光基本計画とイコールでよいか。

**向山町長** 観光基本計画は行政運営の中で観光行政の位置づけをするものと押さえている。観光ビジョンについては、実行性をメインとした、フレキシブルな、戦略も伴ったものと理解している。しかしビジョンと計画は一体として機能させる。

**向山町長** 町の方へ声を寄せていただきたい。アプローチできるアイデアがあれば採用したい。先輩の役割も大切。





米沢議員 現在の介護施設では入所を希望する人たちが受け入れるのには限界があると考えますが、特別養護老人ホームやグループホームなどの増床の計画について伺いたい。

向山町長 第4期介護保険事業計画においては、介護施設の増床は盛り込まれておらず、緊急的な施設入所に対しては、町外施設も視野に入れて対応している。高齢者人口が確実に増加しているので、介護予防、在宅サービスについても一層の充実を進めたい。また介護施設については、将来の方向性を見定めたうえで増床の必要性などについて検討をしたい。



米 沢 議 員

### 特別養護老人ホームやグループホームの増床計画を明確に 増床計画については、必要性を検討したい

米沢議員 医療費の無料化枠の拡大は、比布町では昨年から中学校卒業まで実施され、中富良野町では今年の8月から実施されようとしているが、町としての子どもの医療費無料化枠拡大についての対応について伺いたい。

### 子どもの医療費無料化枠の 医療費負担のあり方を 拡大を 検討したい

米沢議員 医療費の無料化枠の拡大は、比布町では昨年から中学校卒業まで実施され、中富良野町では今年の8月から実施されようとしているが、町としての子どもの医療費無料化枠拡大についての対応について伺いたい。

向山町長 町の単独事業として、3歳未満児と住民税非課税世帯の3歳以上就学前児童の初診時一部負担についても町が助成して完全無料化し、子育て世帯の医療費負担の軽減による子育て支援対策を進めている。

小学生から中学生までの医療費を完全無料化し

### 富良野協会病院の 産婦人科医の確保を 常勤医師1名の確保ができた

米沢議員 富良野圏域に産婦人科医師がいなくなることは、母子の健康を守るうえからも大問題だと考えるが、今後の対応について伺いたい。

向山町長 2次医療圏に産婦人科医師がいなくなることは、非常に大きな問題と考えることから、現在まで、富良野協会病院はじめ、北海道や沿線市町村各関係機関が連携のうえ、圏域の産婦人科医療体制確保に向け、さまざまな要請行動を行ってきたところであり、昨日、富良野協会病院より、常勤医師1名の確保ができたとの連絡が入った。

圏域の医師確保のめどが立たないのではと心配していたが、ひとまず安心をしたところである。

### その他の質問

Q グループホームホープのスプリングラー設置に対する町の補助対策と9床増床の指定の考えは。  
A 町独自の補助策は考えていない。また、望ましい介護サービス提供基準に達していないので、指定するには至っていない。



一 色 議 員

## 地元商店の利用を

### 地元での購買を奨励している

**一色議員** 町長、町議

職員に対するボーナス支給の半額を地元生産の米を購入する券、商工会発行の商品券で支給する。この点について検討する考えはないか。

**向山町長** 地方公務員法

第25条第2項の規定により、特に認められた場合を除き通貨で直接職員にその全額を支払わなければならないと定められていることから、議員の提案については対応が不可能である。ただ、日頃か

に法律の中身については答えるものを持っていないが、法律の趣旨から原則的にできないと理解している。

**一色議員** 町長、町議

職員は税金でまかなわれている。いかに町民の暮らしが良くなるようにすることが最大の責務である。

今回のこの意見も、個人のものではない。あの町民より提示されたも



のである。町民の意見を吸い上げ、前向きに検討し、実現することが私たちの使命であると考えている。法の規定により対応が不可能とは、言語道断である。法とは最高規範のものではなく、人間としてあるべき姿の最低ラインを決めたものだと考えている。時と場合、時代の変化によってより良いもの、選択肢を増やすものであり、そのため

の特例があり、首長の専決権があり、条例の制定により改革が認められている。町民の意見をもっと尊重しなければならぬと思う。なぜならば地産地消と呼ばれているが、い

まだに実現されていない。町民よりいただいたものを町民に還元するこの内部循環型経済をつくることこそ、小さな町が生き延びていける最上の方策だと思ふ。ただ皆さんはこのようにおっしゃっている。商工会の商品券をもらっても、買うものがないと。ちょっと待っていただきたい。上富良野にもおいしいお米がある。うまい果物が、野菜がたくさんある。さらにちょっとした規格外を利用すれば、どんなに安いことが。ただ皆さんは、傷物、見栄えの悪い物は敬遠している。町長が、町議が、職員が地元の生産物商品を利用すれば、生産者は商店はどんなに喜ぶことだろうか。より頑張つて、おいしいものをつくらう。いいものを提供しようとする努力、農家の方の力になり、商店も生き返るだろう。そういった仕組みを作ること

こそ、行政の大きな仕事である。本当に不可能なのか再度質問する。

**向山町長**

法律を読む限り不可能だと思う。商業の活性化と地産地消、これは切り離して考えるべきと思う。

**一色議員**

これは例えの話だが、もし職員のほんどの方が、「よし、やってみよう」と。そうなたときに、法令のためにこれはできないと断るつもりか。その点についてお聞きしたい。

**向山町長**

現時点で職員に何割かの給与の対価を金銭でなく、商品券、購買券で支給することは考えていない。



# もっと知りたい まちのこと

No.9

『わが町の商工業の  
歴史と現状』

## 上富良野町の商工業の歴史

上富良野は開拓以来気象条件に恵まれた純農村として発展をとげてきましたが、昭和30年の陸上自衛隊駐屯を機に近隣町村とは異なった発展をとげることになりました。昭和33年に人口が1万8千人を超したのを境に農村部の人口減少が始まり、平成20年には農家戸数がピーク時の23%となり、おのずから商工業者の人口の減少にも大きな影響を与え、さらに中小スーパーの町内進出により地元の小売店が次々と消滅し、シャッター商店街化しているのが現状です。



明治30年	上富良野に開拓の鍬が入る	30年	陸上自衛隊が駐屯
31年	金子庫三が三重団体に店舗開設、翌32年市街地に移転	34年	上富良野商業協同組合創立
32年	鉄道が上富良野まで開通	35年	上富良野建設業協会設立
33年	豆腐業、運送業、飲食店等開業	36年	デージー食品工業合同缶詰KK操業開始
34年	理髪業が開業	37年	十勝岳爆発
35年	湯屋、木材業が開業	42年	公民館跡地に商工会館建築
36年	質屋、精米味噌醤油業が開業	44年	農協もとまち店開業
39年	富良野を分村	48年	富良野地区森林組合カラマツ加工場完成
大正3年	伊藤七郎右衛門が製材業を開業	49年	スーパーかくはた開店
6年	菅野豊治が鍛冶業を開業	54年	道央信用組合開店
10年	中富良野を分村	59年	スーパーふじ開店
15年	菅野豊治が鍛冶業を開業	60年	北光電子工業開業
昭和2年	山本木工場が開業	62年	第1回商工夏まつり開催
11年	十勝岳大爆発	63年	上富良野町地域振興ビジョン計画策定
14年	世界大恐慌	66年	有線街頭放送協会設立
16年	銀行上富良野派出所となる	8年	食肉センターを空知ミートへ売却
18年	上富良野商工会設立	平成2年	国道237号線バイパス開通
20年	上富良野商業組合設立	14年	十勝岳爆発
21年	米穀配給通帳実施	8年	セントラルプラザ完成
24年	北日本木工製作所KK創業	14年	内田工業、カリカワ工場建設
26年	大東亜戦争終戦	14年	スーパーダイイチ開店
	開村50周年		Aコープウイズ店開店
	市街地8町内で大火		
	町制施行		

## 商工業の発展につくした

### 主な人達

町内で初めて商店を開業しました金子庫三さんと、日本一のプラウメーカーの創業者である菅野豊治さんを紹介します。

#### 1、金子庫三

開拓当時村の人々は米や味噌などを買うために道なき道を数人で一泊し二日ばかりで



熊の出没に注意しながら旭川まで通った。当時、旭川の花輪商店で働いていた金子庫三（岩手県日詰町出身）はその力量を見込まれて明治31年元創成小学校の近くに上富



明治32年、市街地に開店当時のマルイ手幾久屋商店

良野に初めて店舗を開設した。明治32年鉄道が現在の駅に開通の予定を知り、旧マルイ十字街の所に移転。米や味噌、農機具その他の村の必要なものは一切取り扱い、ハダカ馬に乗り旭川へ仕入れに

通った。昭和のはじめには、米の出荷も手がけ上富良野産の米をマルイ特選米として十勝方面に販売し、町の景気の向上に貢献した。

庫三は十人兄弟の四番目に生まれ、負けん気で頑張り屋で商才にたけていた。大まかなようで金銭の出入りは細かなところまできちんとしていた。大福帳の表紙の裏には東照宮の「人ノ一生八重荷ヲ負ウテ遠キ道ヲ行クガ如シ」の語遺訓が記されている。

#### 2、菅野豊治

スガノ農機の創業者、豊治は七人兄弟の六番目として明治27年岩手県中津山村で生まれ



る。明治39年、両親と上富良野村清富に開拓農民として入植、16歳の時、松岡鉄工場に丁稚奉公に入った。大正6年、元の越智建設の地で菅野農機具製作所を開業した。研究熱心な仕事ぶりは評判がよく、プラウ作りを始め土壌に合うプラウを完成させた。この後、満洲開拓の移駐工場としていくことになり出発に際して、お客に売った品物の代金は今までお世話になった感謝の気持ちから、貸し借りをゼロにして出発した。満洲の工場も大きく躍進したが敗戦となりソ連軍から命からがら奇跡的に帰国し、上富良野町に戻った。裸一貫で帰ってきた

豊治に農家の人々は以前に品物の代金をゼロにしてもらったことを忘れてはいなかった。皆の協力により再び操業を始めた。

満洲から帰国の船の中で詠んだ歌に  
「ふるさと之錦忘れ丸裸

寒さ身にしむ朝な夕なに」  
「落ちぶれて袖に涙のかかる時

人の心の奥ぞ知らるる  
忘るな人の「ご恩を」

#### 白の理念

昭和33年菅野の製品は白い塗装になりました。白はごまかしのできない混じっていない色である。商売は常にお客さまに裁かれて存在している。白はどこにあっても目につく、従ってお客さまが何年かかって使い終わるまで良質の性能を維持する製品を造らなければならぬ。ご愛用者に感謝の気持ちで役に立つ仕事をすること、社訓になっています。

#### 『土の館』が北海道遺産に選定される

平成4年、三代目祥孝氏の先祖への深い思いを永く後世に伝えたいとの考えのもとに建設され、長年スガノ農機に奉職



現在活動中の町内商工業関係団体

名 称	代 表 者
上富良野法人会	堀内 慎一郎
上富良野法人会青年部	鎌田 孝徳
上富良野法人会女性部	鈴木 八重子
ラベンダー通り商店街	金子 隆一
いしずえ通り商店街親交会	加藤 祐一
通学通り商店街	広川 義美
銀座通り振興会	高橋 正義
三町内商店街	林 利定
四町内商店街	阿部 幸一
中央商店街	西村 芳夫
なかまち商店街	多田 豊隆
栄町商店街	四釜 富士夫
上富良野飲食店組合	高橋 正義
上富良野青色申告会	久保 儀之
上富良野技能士会	太田 誠二
富良野食品衛生協会上富良野支部	多田 豊隆
富良野理容組合上富良野支部	渡辺 強
上富良野美容師会	庵本 範恵
上富良野町はだか市実行委	蝶野 幸吉
上富良野町アパート組合	野原 清一
上富良野酒小売組合	松田 達雄
上富良野町電気組合	蝶野 久
上富良野町ほほえみカード会	若佐 卓
上富良野町建設業協会	北川 昭雄

商店の推移

	卸売業	小売業	飲食業
昭和46年	20	188	77
昭和47年	3	158	80
昭和49年	3	156	86
昭和51年	17	167	108
昭和54年	18	173	129
昭和57年	23	159	141
昭和60年	17	153	
昭和61年			52
昭和63年	16	157	
平成元年			51(56)
平成3年	15	141	
平成4年			47
平成6年	(17)	(128)	(46)
平成9年	(16)	(122)	(45)
平成11年	(15)	(114)	(36)
平成14年	(10)	(115)	(44)
平成16年	(14)	(116)	(42)
平成19年	(18)	(115)	(43)

町勢要覧 ( )内は商業統計調査

大正・昭和前期の  
商工業者戸数

	大正15年	昭和6年	昭和8年	昭和11年
物品販売	93	77	83	83
製造業	41	47	47	47
運送業	1	1	3	3
質屋	2	1	1	1
請負	11	10	10	10
旅宿	4	5	5	6
料理店	9	5	5	5
理髪	5	8	9	9
湯屋	3	2	2	2
仲買	9	14	14	14
飲食店	12	7	8	8
その他	37	41	45	45
合計	227	218	232	233

歴代商工会会長

初代	山本 逸太郎	S33.5 ~ S44.2
二代	金子 全一	S44.2 ~ S49.1
三代	一色 正三	S49.1 ~ S51.4
四代	仲島 徳五郎	S51.5 ~ S55.4
五代	一色 正三	S55.4 ~ S61.3
六代	佐藤 勇	S61.3 ~ S63.5
七代	堀内 慎一郎	S63.5 ~ H9.5
八代	中川 一男	H9.5 ~ H15.5
九代	仲島 康行	H15.5 ~ H18.5
十代	北川 昭雄	H18.5 ~ 現在

ま と め

した種吉忠彦氏が開館に奔走し、初代館長を務めた。平成16年北海道遺産として選定された。

⑨かみふらのの郷土をさぐるより一部抜粋

商店街は鉄道の線路をはさんで東側と西側に分かれますが、西側の旧国道である大通りは多くの商店や飲食店が並び賑わいを見せていました。東側は陸上自衛隊の駐屯地や小中学校があり官舎や住宅地として人が増加、盛んな購買力に目をつけた大型店が相ついで東側に進出。人の流れも吸収されていきました。

さらに追い討ちをかけるように昭和63年バイパスが完成し、街の中に車が入らず素通りするようになりました。近年、西中にスーパーセンターができ、大きく流れが変わったのです。また、コンビニエンスストアも続々進出し、昔ながらの商店がどんどん減少し、空き店舗が増加しているのが現状です。

上富良野町の商工業は、これまで生活の発展の中で果たしてきた役割もあり、時代の変革があっても消え去る存在であってはならないはずであり、本年度調査中の商店街空き店舗及び商店街現況調査事業の結果を踏まえ、商店街を活性化して賑わいを実現していただきたいと思います。

# 議会の“窓”

## 全道町村議会議員研修会・由仁町行政調査

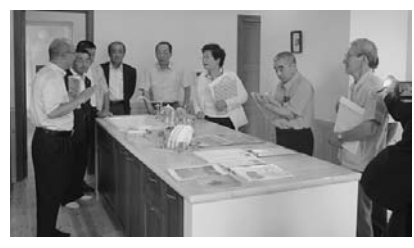
### 全道議員研修会に参加



7月1日、札幌市で開催された北海道町村議会議長会主催の全道町村議会議員研修会に議会議員13名が参加し、経済産業研究所 上席研究員 山下一仁氏から「農業ビッグバンの経済学」と白鷗大学 法学部教授 福岡政行氏から「政局展望」と題した講演を聴きました。

### 由仁町で行政調査を実施

前日の全道議員研修会に引き続き7月2日、空知管内由仁町を視察し、「行政改革」と「定住対策」を調査しました。由仁町は財政の指標である実質公債費比率が国の早期健全化基準の25%を超えたため財政健全計画を策定し、集中的な行政改革に取り組んでおり、町税の引上げや職員人件費の縮減、各種補助金と公共施設の利用料金の見直しなど住民理解のもと自主財源の確保に努めている実態を調査しました。また、移住・定住対策で優良田園住宅の取り組みを調査するとともに現地を視察しました。



**お詫びと訂正**  
66号(2010年4月25日発行)3ページの一一般会計討論についての記載で誤表記がありましたので、訂正してお詫びいたします。  
(正)賛成10人 反対1人  
(誤)賛成11人 反対1人

### 議会の動き

- 【4月】
  - 27日 総務産建常任委員会
- 【5月】
  - 17日 総務産建常任委員会
  - 24日 第2回臨時会
  - 全員協議会
  - 厚生文教常任委員会
  - 25日 総務産建常任委員会
  - 28日 議会運営委員会
- 【6月】
  - 2日 富良野広域連合議会 第1回臨時会
  - 7日 厚生文教常任委員会
  - 8日 総務産建常任委員会
  - 9日 議会運営委員会
  - 10日 全員協議会
  - 幌加内町議会視察来町
  - 総務産建常任委員会
  - 15日 第2回定例会(1日目)
  - 16日 第2回定例会(2日目)
  - 22日 議会広報特別委員会
  - 29日 宮城県亘理町議会視察来町
  - 30日 三重県津市議会視察来町
- 【7月】
  - 1日 全道町村議会議員研修会
  - 2日 先進市町村調査(由仁町)
  - 5日 総務産建常任委員会
  - 8日 議会広報特別委員会
  - 9日 第3回臨時会
  - 議会広報特別委員会
  - 14日 長野県大町市議会視察来町
  - 15日 厚生文教常任委員会
  - 21日 福島県西郷村議会視察来町
  - 22日 東中学校議会見学

### 随感随筆

サッカーW杯南アフリカ大会が開催された。待ち望んだ4年に1度の世界的なサッカーの祭典であり、時差の関係もあり寝不足の人も多かったのではないのでしょうか。

試合そのものにももちろん感動しましたが、11名の選手全員が肩を組み国歌を歌っている映像が映し出されとても嬉しく感動しました。それと同時に選手たちは何時どのようにして日本国歌「君が代」を覚えたのか非常に興味を持ちました。

それで思い出したのは、前号の議会だよりの表紙の写真撮影のため、東中小学校の入学式に参列したのですが、なんと児童達が大きな声で「君が代」を斉唱していたではありませんか。とても言葉に表せないくらい感動しました。

23年度からの「新学習指導要領」においては、国歌「君が代」を「指導する」から「歌えるように指導する」に改められました。今からとても楽しみにしています。

(今村 記)

委員長 和田 昭彦  
副委員長 佐川 典子  
委員 岡本 康裕  
" 今村 辰義  
" 一色 美秀  
" 長谷川 德行



議会の様子を見にきてください！ 次回は9月中旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/㈱上富印刷  
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二  
☎(067)4516992 版(〇七)四一五三六二